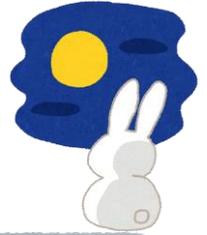




感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和6(2024)年第36週(9/2~9/8)

三宅島 感染症の報告はありません
御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

東京都の注目される定点把握対象疾患

《東京都感染症週報R6年第35週》

- 手足口病の定点当たり報告数は、6.04で前週(4.55)より増加し、未だ警報レベルが続いています。
- 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、4.78で前週(4.79)からほぼ横ばいです。
- マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、2.08で前週(1.52)より増加し、今後の動向に注意が必要です。

島しょの情報(島しょ11島の医療機関からの報告)

《第36週(9/2~9/8)》

- 新型コロナウイルス感染症の医療機関当たりの報告数は、1.64で前週(2.73)より減少しました。油断せず状況に応じて、部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。

マイコプラズマ肺炎 頑固なせきを伴う呼吸器感染症、小児や若者に多い

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こります。患者のうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられます。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。

症状は発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、せきなどの症状がみられます(せきは少し遅れて始まることもあります)。せきは熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。感染した人の多くは、気管支炎で済みますが、一部の人には肺炎になったり、重症化する場合があります。また、5~10%未満の割合で、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症がみられることもあります。

感染経路は、感染した人のせきのしぶきを吸い込んだり(飛沫感染)、感染者と接触したりすること(接触感染)により感染し、潜伏期間も長く、2~3週間くらいとされています。

感染予防は、流水と石けんでしっかりと手洗いを行い、タオルの共用は避けましょう。せきの症状がある場合には、マスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることも重要です。

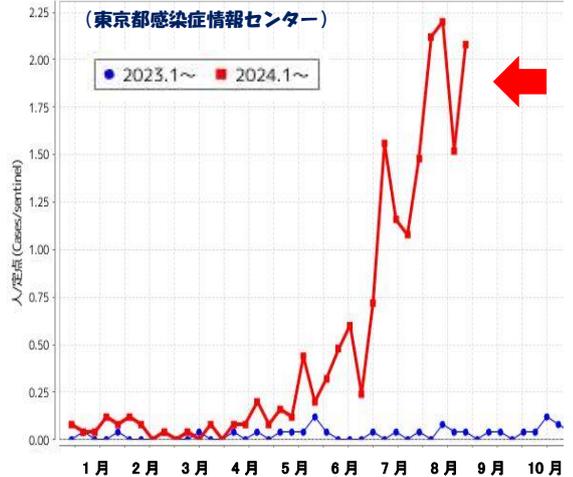
(参考:厚生労働省 マイコプラズマ肺炎)



マイコプラズマ肺炎(厚生労働省)

マイコプラズマ肺炎 <都全域>

(東京都感染症情報センター)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和6(2024)年第36週

令和6年9月2日～ 令和6年9月8日

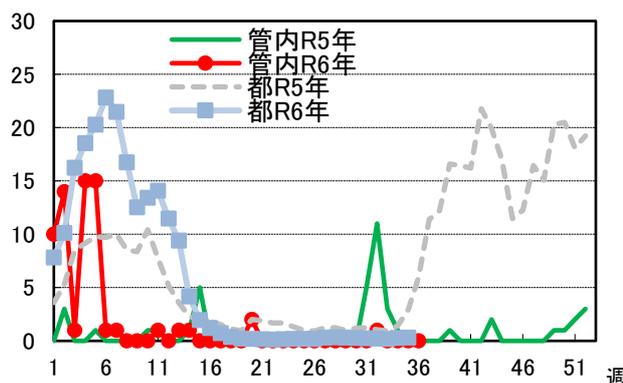
疾病名	令和6(2024)年				令和6(2024)年累計	東京都定点あたり35週
	33週	34週	35週	36週		
RSウイルス感染症					0 (0)	0.26
咽頭結膜熱					0 (0)	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					5 (0)	1.31
感染性胃腸炎					15 (1)	2.78
水痘					0 (0)	0.07
手足口病					2 (0)	6.04
伝染性紅斑					0 (0)	0.67
突発性発しん					0 (0)	0.35
ヘルパンギーナ					0 (0)	0.74
流行性耳下腺炎					0 (0)	0.05
MCLS(川崎病)					0 (0)	入電なし
不明発しん症					0 (0)	0.02
インフルエンザ					63 (32)	0.31
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	61 (10)	4.78

※かっこ()は、御蔵島の報告数を再掲。

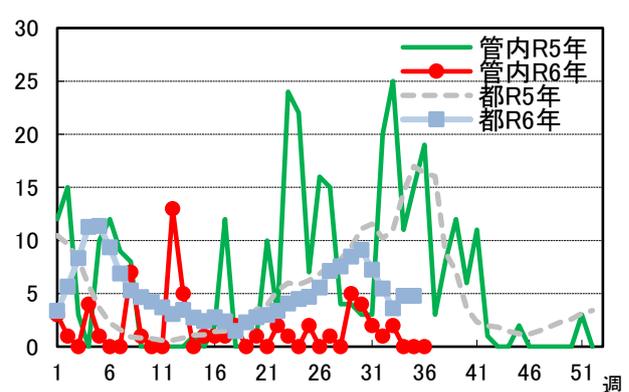
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

状況に応じて、部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。